（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　昭和十年四月二日〔日刊〕　新いわき　〔火曜日〕第一千四百三十四號（一）

四月一日　夕刊

日刊但日曜祭日翌日休
郵便一ヶ月二十五錢
郵便十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢
場所指定弐拾錢增
發行兼編輯印刷人　平谷政吉
發行所　福島縣平町大町二三
福島縣　新いわき新聞社

# 櫻花の松ケ岡に表彰旗披露の宴

## 知事以下六百名を迎へ

### 今日警備委員會で決定

消防界至上の光榮たる大表彰旗を獲得した平消防組では此の大表彰旗の盛大な披露式を擧行すべく準備を進めてゐるが今一日青沼町長は警備委員會を召集し町主催の下に盛大な披露式擧行の件を正式に附議した結果大体松ヶ岡の櫻花咲き初める第二日曜の十四日に決定各般の準備は警備委員を中心として委員會を組織此れに依つて進める事になつた即ち當日は伊藤知事、畠田警察部長を始め石城郡下各町村長全消防組頭、縣下消防協會幹部各消防協會理事の外平町の官民有志等約六百名を招待松ヶ岡公園の錠び初むる櫻花の下で大園遊會を開く筈で今春行事中の一大豪華宴として當日の賑さは非常に期待されてゐる

# 住吉屋本店に於て新舊署長歡送迎會

## 青沼町長等發起の下に來る六日午後六時から

警視昇進の平署長横山宗延氏の後任として喜多方署長から一躍平署長に榮轉した警部柴田鶴作氏は六日着任する事に決定したので青沼平町長井上町會議長等發起の下に六日午後六時から住吉屋本店に於て新舊署長の歡送迎會を開く事になつた尙喜びの横山新警視は內務省の發令の都合上一先づ警務課勤務を命ぜられたが大体四五日中には新警視として若松署長に榮轉の正式發令を見る筈で柴田新署長との事務引繼の關係もあるので警視課へは赴任せず正式發令と同時に新任地へ赴任する事になつた

# 郡下教員大異動

## 全郡下各校に亘り昨三十一日發表さる

全縣下に亘る教育界の大異動は昨三十一日發表され大嵐の渦に捲き込まれた本郡關係の異動は次の如くである

新任地　舊任地　氏　名
梁川校長　平第一　津田達三
平第二〃　保原　千葉右近
箕輪〃　郡山第二　紺野義興
入達野〃　下小屋　阿部喜久治
大野〃　高久　鈴木龜之助
高久〃　平第二　金澤邦雄
內郷第一　好間　佐藤文雄
夏井〃　美山　小野三德
平窪〃　夏井　松崎金松
神谷〃　平窪　井上純
渡戸〃　下三坂　川口武人
下三坂〃　箕輪　松本龜次郎
川前〃　兩田　新川五郎
以上校長

〃　泉　平第二　佐藤三義
〃　錦　保原　水野兵治
〃　錦　入達野　竹內忠
內郷第二　勿來　上遠野　渥美晴子
〃　上遠野　幾世橋　野木卓
內郷第三　磐崎第二　佐藤破治　內郷第一　高木量郎太
赤井第一　磐崎第一　古澤定美　吉田ハルノ
〃　川部　丹野タケ
〃　錦　矢內久彌
〃　小名濱　鈴木トヨ
〃　新地　齋藤靜枝
入達野　豊間　大越一二三
〃　日橋　横山藤次
〃　磐崎第一　鈴木武雄
〃　植田　渡邊彌平
〃　高久　高久實公　佐藤盛榮
江名　小名濱　花井忠吉
小名濱　泉　鈴木孝雄
〃　勿來　鈴木章
江名　勿來　小林貞幹
磐崎第一　赤井第二　菅波セイ
湯本入山　平窪　佐藤キミ
〃　四倉　助川光夫
內郷尋高　赤井第一　岡田勝雄
〃　掛田　佐藤三義
〃　逢田　水野兵治
內郷第三　竹內忠
內郷第二　四倉　渥美晴子
〃　上遠野　野木卓
內郷第三　內郷第一　高木量郎太
赤井第一　磐崎第一　吉田ハルノ
赤井第二　入達野　佐藤テル
大野　永盛　添田政術
〃　久の濱　西山榮
〃　神指　松崎守
平窪　郡山第二　阿部フク
小川　熊町　相樂イネ
柳賣　川前　齋藤キクヨ
湯本　平野　佐藤舗
草野　神谷　佐藤忠一
大野第二　御館　西方眞太郎
好間　男師　長谷川五郎
四倉　柳賣　小野チヨ
以上

# 新第二校長千葉氏は平町出身の快男子

## 錦衣歸郷の喜に燦く

平第二小學校長から梁川校長に榮轉した津田達三氏は篠山第一校長と共に縣下隨一の大郡たる石城教育界に一異彩を放つてゐただけに各方面から惜まれてゐるが出身地たる伊達郡の鎭台格で人選難の梁川校長に轉じたのは當人にとつては錦衣歸郷の榮轉である尙津田第二校長の後任として來任する千葉右近氏は平町鷹匠町出身縣下教育界に於ける快男子としてその豪快な教育振りを知られてゐる名物男…保原校長からは大榮轉と言ふべく殊に出身地平町に赴任は津田校長以上に錦衣歸郷の喜びを滿喫出來る譯である

# 平町の滿蒙國防博

## 今日盛大な開館式

### 各大臣の祝電と來賓の祝辭

### 二百五十名の宴會に余興

平町に於ける櫻花の春を飾る滿蒙國防博覽會は豫定の如く出品の陳列を整つて今一日午後一時會場內に開館式を擧行した式の列席は衆議院議員及び縣會議員その他二百五十餘名で開催主伊東一氏開辭を述べ次で會長に推された鈴木代議士の挨拶ありて內務大臣の祝電

滿蒙國防博覽會の開催を祝し併せて益々邦家の進運に擧せられんことを望む

の外陸海拓相並に横須賀鎭守府司令長官、福島聯隊區司令官その他からの祝電十數通を朗讀の後來賓の祝辭終つて演藝館內に宴會を開き同館お手の物の餘興あり午後四時散會したが青沼平町長の祝辭は左記の如くである

本日をトし滿蒙國防博覽會の開會式を擧行せらる、邦家の爲め洵に慶賀に堪えざるなり

惟ふに非常時日本が國を擧げて國防に邁進するは必至の急務として然るか如く復た國防の基調を國內產業の啓發誘導に重點を置くは最も妥當と云ふべく今や我が國運伸長に件ふ列强との國際は互に國力を謳して其の勢力の均衡を保持せざるべからざる關係上內治に外交に上下一般の緊張を持續せざるべからざるの秋に際し此種博覽會の開設を見るに最も有意義にして極めて機宜に適したる計畫なりと謂ふべし宜しく滿蒙の天然資源を詮議し無盡藏なる世界の寶庫を品隙査覈し其の物資の增殖產業の振興資易の伸暢等を究め本會の開設を好機として一層戮力相俱に綱常を振ひ民心を敦ふし國力の進展に資し以て本會の目的を達せられん事を一言を叙して祝詞とす

# 平町の國防博館內に紫山流の盤景陳列

## 高橋光山教授の指導

平町會議員高橋龜松氏夫人は紫山流盤景を宗家に學び高橋光山の雅名と共に教授の奥許を受けて同流石城支部長に推され過般來多數希望者に對し傳授してゐるが、今回左記六名の總傳と奥傳を出だし前記門生の作品を四月一日から開館された滿蒙國防博の館內に陳列したが地方としては目新しい出陳で一般の觀賞に好評を博してゐる

總傳高橋うた　吉田きみ
鈴木よね
奥傳逸見もと　立花わか
矢內しげ

# 拾遺歌中題詞の『さはとのみゆ』は現今の湯本（原名三箱）町に懸く

（飯坂溫泉元湯の鯖湖に强引、建碑せるは無稽、不當の極み）

〔21〕　鮫川刺史

五代花山天皇の御撰と云ひ、尤も天皇の御在位は、永觀二年（一六八四）十月十日より寛和二年（一六四六）六月二十三日までとし是の日、花山院に御退き、翌日、禪位し給うて藤原乘家が攝政に陞り、七月二十二日、一條帝が即位遊ばされたから、天皇が之に居ませるは僅かに三年と承はれば乃ち法皇の御時に親輯せられ給ふか。

越えて長保（一六九九ー六三）寛弘（一六六四ー七一）間に至り、一拾遺和歌集」が撰進され、爰の古今、後撰と並んで、古來三代集の一つと謂はれる。

本集は寫本二十卷を傳へ、一千三百五十一首を收め、又撰者に就いては凡そ三說ある其の第一は、畏れ多くも六十一代花山天皇の御撰と云ひ、第二は其の頃の有品な歌人である中納言藤原公任が、次の一條帝（一六四七ー一六七一）の長德元年（一六五五）若しくは其の年中（一五八）に撰したと云ひ、第三說は道濟の輯に係ると云ふ。併し先哲の大半は公任と爲すが、必ずしも確かでないから、姑らく花山法皇の御選と假定するも差し閊へがなからう。

# 常識講座

會議がコンファームへ引摺られるばかりなど云ふコンファームは難關の謂で例へば軍縮會議の如きに各國が得手勝手な主張に終始したのではまず〳〵難關に陷るばかりだと云ふ意

# 齒科醫師會支會總會

齒科醫師會石城支會では明二日午後一時から平町マルトモホールに於て定時總會を開き豫算決算審議後役員の改選を執行するが當日は支會創立十週年に相當するので記念講演會並に學術研究の發表ある筈

# 農會選擧

## 今日執行

町村農會總代選擧は今一日午前八時から全郡下一齊に執行されたが近時農會の飛躍に伴ひ各地ともに可成りの激戰である開票は明二日決定の筈である

# 今日は嬉しい入學式

## 平町三校の

平町第一、第二、第三各小學校の新入學生入學式は今一日午前九時から各校講堂に於て一齊に擧行された、喜びの新入生君父兄や母に手を引かれての初登校で賑はつてゐた

# 花合開帳の六名檢擧

昨夜小名濱で

昨三十一日午後七時半頃小名濱町字竹町四家西松（四四）方で西松外同町佐川留吉（四三）高橋鐵四郎（四三）小林條雄（一九）柳內秀明（三六）江名町字永崎永山仙三郎の六名が車座となり現金賭の花合せ開帳中警官隊に踏み込まれて一網打盡に檢擧された

## 花卉類の溫室經營

4　次へで切花用のアスターの栽培

次には整地と基肥について述べる。まづ畝巾の畦間を淺く耕耘して油粕一俵、米糠二俵、木灰二俵（何れも反當り）をよく混合して基肥として施し歩きながら兩足を交るがはるに土を蹴飛らすやうにして覆土しその上に種子を條播して足の爪先きを以て均すやうにしながら薄く土をかけるのである、

中耕と管理の方法はエゾ菊は根の淺いものであるから風の場合に倒されないやうに土寄せをするのであるが麥を刈取つたなら直ぐに間引きをして第一回の中耕と除草を行ひ同時に土寄せをなし六月下旬頃に於て第二回の中耕と土寄せをするのである、

病害虫に就てはエゾ菊の病氣としては大抵の耕作者に惱みをもつ下葉の枯れ上る褐斑病とそれか稀にはウドンコ病がつくことであるが風通しさへよければ大抵はそれで防げるのです、虫害はなかなかに厄介でウリバイ、コガネムシハバチ、アブラムシ、夜盜虫ウメケムシ、モン白蝶の幼虫であるところの青虫がつきますからアンモニヤボルドー液や砒酸鉛で之れを防げるのであるが併し薬がとれても軟かいものであるために前記の薬劑を使ふ場合には何れも薄いものを用ふるやうにしなければならない、それを考へずに強いものを使ふと薬害を蒙つて葉を傷め自然全體に悪い影響を及ぼすことになるから注意する、（終り）


牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三屋　平町田町

洋服は高島屋　注文並に既製品
特製男女通學服！特價提供……
男子一年生用　紺サージ　三圓九〇錢より
綿サージ　一圓六十錢より
小倉　同　一圓四五錢より
女子用　サージ　三圓三〇錢より
綿サージ　一圓六五錢より
男女防水マント　一圓三〇錢より
其他各物新荷豐富取揃
高島屋洋服店　平町二丁目　電話三八六

産婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院　電話一六四番

お醤油は……ヤマフル
醤油　味噌　たひら正宗　鰹節食料品
鹽屋　山崎合名會社
明治生命磐城代理店　山崎與三郎
電話　營業部一〇　本店二七〇番

學習院型ランドセル
サイゴー印學生帽
女學生用手提カバン
・玉付ノ石板ガ樂ニ入リマス…　・九五錢ヨリ
・福助運動靴景品付賣出中
入學用品店内陳列
入學ト進級ノ準備ニ入ノ念ハイ嗜ミセル實用品揃
ツルヤ　平一四〇・電四

債券　公債　兩替　金融
多田井質店　平町大工町　電話五九一番

診療科目
一、歯科一般　保存科、補綴科、繼歯架工科、歯列矯正科、小兒歯科、歯槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科
中野歯科醫院　院長　日本歯科醫學士　中野惠次
日本歯科醫學士　西川誠
平町出町（松月堂向ひ）電話五〇九番

海を隔てて高砂屋は
和洋鉄鋼　高砂屋
良品廉價は
高砂屋
磐城平町五丁目　電話九番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内正一　電話一六番
平町二丁目
事務取扱者　阿部助次郎

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町　高久病院　電話五一三番
院長　醫學士　高久忠

英和・和英辭典
國語・漢和辭典
各種豐富取揃へました
國定教科書
中等教科書
全科參考書類
中等教科書　各科參考書
平・四　友　電話一二四・二三四番
新學期の御用意は先づ
マルトモ書店から
小學生　カバン　¥ ,35より
ランドセル　¥1,70より
女學生手提カバン　¥ ,85より
磐城中學校指定背嚢あります

三十回生徒募集
非常時の女性に促す
婦人職業の近道に
産婆看護婦を御選み下さい
それには成績のよいと定評のある
平南町　産婆看護婦學校へ
▲申込み成るべく早く
▲新學期を開始は四月八日より
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ子
（電話三〇七番）

平田町　レストラン　サロン　電三五二

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 正 | 正 | 正 | る | 食 | しづかに |
| しい | しい | しい | | 事の | |
| 酒 | 喫 | 食 | | 出 | |
| 場 | 茶 | 堂 | | 來 | |

スペイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）